

## 腹圧性尿失禁に対する TVT 手術（恥骨尿道靱帯補強術）の説明

腹部と膣壁に小さい切開を加え、そこから反応の少ない人工テープを挿入し、恥骨尿道靱帯を補強し、尿漏れを改善する手術です。局所麻酔で行います。世界で 100 万人以上の人々が既にこの手術を受け、尿漏れの無い生活を取り戻しています。術者は現在までに 100 人以上の方の手術を執刀しています。

### 1. 尿もれ改善率（術者の成績）

- 1) 完全に尿漏れがない人：88% (57/65)
- 2) 完全に尿漏れがない、またはたまに漏れても日常困らない人：92% (60/65)

### 2. 手術合併症.....手術のリスクと対処法

- 1) 膀胱誤穿刺；9.2%(6/65)：翌日までカテーテルと袋をつけて膀胱を縮めておきます
- 2) 排尿困難の持続；7.7%(5/65)：局所麻酔下にテープをゆるめます。(ただし 23 人目以降は 0)
- 3) 骨盤内血腫；1.6%(1/65)：ほとんどは安静のみで回復します。まれに輸血が必要になることもあります。入院が必要と判断されれば、公立昭和病院などにご紹介します。
- 4) その他ごく希な合併症として腸管損傷、局所麻酔アレルギー、テープの拒絶反応などが報告されています。

### 3. 手術を受けなかった場合

年齢とともに尿漏れがさらにひどくなる可能性があります

### 4. 手術以外の治療法

骨盤底筋体操、薬物療法など

### 5. 治療の流れについて

- 1) 手術当日は 13 時に来院して下さい。お昼ご飯は軽く済ませてきて下さい。
- 2) 約 1 時間の手術後、問題なければカテーテルにふたをつけたまま歩いて帰宅できます。帰宅後は朝まで安静にしてください。痛みや出血がひどい、気分が悪い、高熱が出た場合などは医師の携帯に電話して下さい。もし自宅に血圧計があれば電話する前に血圧を測ってください。
- 3) 翌日、再来院していただきカテーテルを抜きます。尿が出ない、残尿が多い場合はさらに数日カテーテルを留置するか、自己導尿を指導いたします。
- 4) 1 週間後に抜糸します。抜糸まではシャワー浴にしてください。シャワートイレがある方は 1 週間は排尿後ビデで洗浄すると良いでしょう。
- 5) 手術後 1 か月はテープのずれを防止するため、10kg 以上の重いものはもたない、サイクリング、ジョギングなどの激しい運動は避けて下さい。また排便時にいき

むとよくないので便秘しないようにご注意ください。性交渉は手術後 6 週間は控えて下さい。

- 6) 術前後の説明で不明な点があれば、必ず、お聞き下さい。手術前のキャンセルはいつでもできますのでご連絡下さい。

..... (切り取ってお出し下さい).....

以上、TVT 手術の効果とリスクについて説明を受けました

署名

平成 年 月 日